

社会福祉法人 志賀福祉会 後援会だより

会報 第27号
—令和6年10月—
社会福祉法人 志賀福祉会 後援会
TEL (077) 596-2233
FAX (077) 596-2231
郵便振替口座
00990-0-111436 又は
ゆうちょ銀行 ○九九 (ゼロキュウキュウ店)
普通 0111436



皆様、いつもありがとうございます。いかがお過ごしでしょうか？
まず初めに、本年元旦に大地震に見舞われ、さらに九月下旬にも集中豪雨で甚大な被害を受けられた能登地方の方々に對しまして、心より深くお見舞い申し上げます。
さて、今年の夏も、例年と同じくエアコン無しでは過ごせない程の猛暑日が続きました。室内においても熱中症で救急搬送される方が増え、畑の野菜は高温で育たないため、スーパーでの価格が高騰しました。また、残暑も長く、秋は年々短くなっているような気がします。
コロナが明けて日常生活が戻ったことは、大変喜ばしいことですが、反面、財政支出によるインフレで物価は上昇しております。それに伴い、お給料や年金も増えれば良いのですが・・・それはなかなか難しいようです。このように、私たちを取り巻く環境は年々大きく変化しているため、今までのものの考え方（常識）を柔軟に変化させる必要があります。ピンチはチャンスであり、必ずその先には、明るい未来が待っているはずで
また今年は、近江舞子しょうぶ苑が創立三〇周年を迎えられ、今後益々の発展が期待できる、おめでたい年です。当会としても法人をバックアップし、共に繁栄を築いていきたいと思
これからも、皆様方のご支援とご声援をよろしく願
社会福祉法人 志賀福祉会 後援会だより ー第27号ー

時代の変化に適應！

後援会会長 小村 廣光

「法人設立三十周年を迎え」
社会福祉法人志賀福祉会
今年は能登半島大地震からはじまり、夏には初めての南海トラフ注意報もありました。いづつどうなるか分かりませんが、厳しい残暑も重なって、しんどいと感じている方が多いのではないかと思います。改めて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。
さて、タイトルにもありますように、社会福祉法人志賀福祉会は本年七月に、法人設立三十周年を迎えました。コロナ禍で休止していた職員慰安会も兼ねて、食事を実施し節目を祝うことができました。これも後援会をはじめとした地域の皆様の支えがあったことです。改めて感謝申し上げます。
振り返りますと、法人が設立された当初、本部がある旧志賀町地域には老人福祉施設がなく、各種方面の助けも借りながら、手探りのなかで運営を行ってきました。地域の老人福祉や認知症（当時は痴呆症）への偏見も強かったために、決して歓迎される方ばかりではなかったと聞いております。平成十二年頃には介護保険法がはじまり（開所時は老人福祉法のみで運営）、介護を家族だけではなく地域の社会資源もつかって実施していく体制が一層進みました。高齢化率はどんどんと高まり、今や三割に届こうかというところ
です。スマートホンが普及し、バーチャルな関係構築もできるようになり、又、働き方も変容するなかで、人口減少、支え手不足の問題が顕在化しています。施設も三
十年経ちますと、老朽化が激しくなり、修繕にかかる費用が増え続けています。物価高騰、光熱水費の向上もあるため、運営は困難となる一方です。そんななか、後援会の存在を大変強く感じています。今風にいうと皆様からの「推し」のひとつとして、今後も志賀福祉会が在り続けられるよう、更なる努力をして参ります。



社会福祉法人志賀福祉会
理事長 村田 隆

社会福祉法人 志賀福祉会 後援会だより ー第27号ー

「すべての議案が可決・承認」

令和六年度定期総会（志賀福祉会後援会）

令和六年六月、近江舞子しょうぶ苑にて標記総会を開催いたしました。

①令和五年度事業報告、収支決算（案） ②役員異動

③令和六年度活動方針（案） ④近江舞子しょうぶ苑 家族会について

特に、④については、現在活動を縮小されている団体「近江舞子しょうぶ苑 家族会」の皆様方に、後援会活動の趣旨をご理解いただいた上で、ご賛同いただける方は後援会にご入会いただき、活動を継続いただくことで役員の皆様の承認をいただいた。

慎重審議の結果、すべての議案は可決承認された。今年度の役員は左記の通り（敬称略）

役職	氏名
会長	小村 廣光
副会長	高間 敏次
理事	北澤 忠博
理事	猪飼 忠司
事務局	夜西 昭男
幹事	徳岡 明治
幹事	木戸 勇
幹事	山口 平和
幹事	和藤 信子
幹事	三上 昭
幹事	川端 美保子
幹事	白井 勉
幹事	松井 毅
幹事	西上 清紀
監事	増田 敏行
監事	藤野 秀男
顧問	松井 俊治

編集後記

現在まで、この後援会活動を支えて下さった会員の皆様に対しまして、心より御礼申し上げます。この二十数年間、個人会員でお支えいただいた方々の会員数減少が見受けられています。会員数拡大と地域福祉向上のため、和邇平和堂において送迎付運動クラブ「**おれんじ運動クラブ**」も開始しています。

後援会加入にご興味のある方が居られましたら、活動の趣旨説明に上がらせていただく所存ですので、お手数ですが、事務局までご一報お願いいたします。

令和五年度 志賀福祉会後援会 会計収支報告書

項目		決算額	備考	項目		決算額	備考
会費	379,000			事務費	87,897		
	普通会費	219,000	個人54名		印刷費	53,034	後援会だより作成代等、長3封筒2,000枚作成代
	特別会費	160,000	法人23社		事務雑費	34,863	発送代、A4 10切手代等
事業収入	0			事業費	880,604		
特別収入	360,000		真野しょうぶ苑 駐車場、謝礼		助成事業	850,604	車いす用体重計1台、エアマットレス1台、サーフィス1台、体操成計1台他
雑収入	9		受取利息		ボランティア事業	30,000	こっころぽイベント協賛
繰越金	1,096,298			渉外費	9,188		振込手数料、JP払出手数料
収入合計	1,835,307			雑費			
				支出合計	977,689		

監査報告
令和五年度 志賀福祉会後援会 会計収支決算について
監査の結果、適正と認めます。
令和6年6月10日 監事 増田敏行
監 藤野秀男

収入合計 1,835,307
支出合計 977,689
次年度繰越額 857,618